

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

(法第 12 条、法施行規則第 56 条)
〔P C T36 条及び P C T 規則 70〕

出願人又は代理人 の書類記号 FP-047PCT	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JP2005/003237	国際出願日 (日.月.年) 21.02.2005	優先日 (日.月.年) 23.02.2004	
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. 補充欄 参照			
出願人 (氏名又は名称) 財団法人木原記念横浜生命科学振興財団			

国際予備審査の請求書を受理した日 13.12.2005	国際予備審査報告を作成した日 28.06.2006
名称及びあて先 日本国特許庁 (I P E A / J P) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 齊藤 真由美 電話番号 03-3581-1101 内線 3448 4B 8931

第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

出願時の言語による国際出願

出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文

国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))

国際公開 (PCT規則12.4(a))

国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条 (PCT14条) の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

出願時の国際出願書類

明細書

第 1-45 ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

請求の範囲

第 1-9、12、13 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 第 10、11 項*、13.12.2005 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

図面

第 1-13 ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. 補正により、下記の書類が削除された。

明細書 第 _____ ページ
 請求の範囲 第 _____ 項
 図面 第 _____ ページ/図
 配列表 (具体的に記載すること)
 配列表に関するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかつたものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

明細書 第 _____ ページ
 請求の範囲 第 _____ 項
 図面 第 _____ ページ/図
 配列表 (具体的に記載すること)
 配列表に関するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1-13	有
	請求の範囲		無
進歩性 (I S)	請求の範囲	1-13	有
	請求の範囲		無
産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲	1-13	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1: WO 2002/103042 A2 (EPIGENOMICS AG.) 2002.12.27

文献2: The DDBJ / EMBL / GenBank databases [online] ;
Submitted (10-MAR-2000), Accession No. AP001384

文献3: Nature, Vol.420, (2002), p.312-316

文献4: The DDBJ / EMBL / GenBank databases [online] ;
Submitted (19-FEB-2001), Accession No. AP003208

文献5: Cytogenet. Genome Res., Vol.102, No.1-4,(2003), p.347-354

文献6: The DDBJ / EMBL / GenBank databases [online] ;
Submitted (19-JUN-2002), Accession No. AC092068

文献7: The DDBJ / EMBL / GenBank databases [online] ;
Submitted (04-MAY-2000), Accession No. AC068591

文献8: The DDBJ / EMBL / GenBank databases [online] ;
Submitted (17-JUN-2003), Accession No. AL844840

文献9: Structure (Camb), Vol.9, No.12, (2001), p.1237-1251

文献10: Cell, Vol.97, No.4, (1999), p.503-514

文献11: Science, Vol.295, No.5564, (2002), p.2446-2449

請求の範囲1-13に記載された発明は、国際調査報告に記載された上記文献1-11の何れにも記載されておらず、新規性及び進歩性を有する。

配列表に関する補充欄

第I欄2. の続き

1. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に必要なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、以下に基づき国際予備報告を作成した。

a. タイプ 配列表
 配列表に関するテーブル

b. フォーマット 紙形式
 電子形式

c. 提出時期 出願時の国際出願に含まれていたもの
 この国際出願と共に電子形式により提出されたもの
 出願後に、調査又は審査のために、この国際機関に提出されたもの
 _____ 付けて、この国際予備審査機関が補正*として受理したもの

2. さらに、配列表又は配列表に関するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

3. 補足意見 :

*第I欄4. に該当する場合、国際予備審査報告書の基礎となる配列表又は配列表に関するテーブルに "superseded" と記入されることがある。

補充欄

いすれかの欄の大きさが足りない場合

第（表紙）欄の続き

*C12N15/09 (2006. 01), C07K14/47 (2006. 01), C07K16/18 (2006. 01), C12N1/15 (2006. 01),
C12N1/19 (2006. 01), C12N1/21 (2006. 01), C12N5/10 (2006. 01), C12P21/02 (2006. 01),
C12Q1/68 (2006. 01), G01N33/15 (2006. 01), G01N33/50 (2006. 01), G01N33/53 (2006. 01)*

及び 59 位のアルギニンからリシンへの置換がなされているアミノ酸配列を有するタンパク質

(via) 配列番号 2 のアミノ酸配列において、10 位のリシンからアルギニンへの置換及び 47 位のアラニンからセリンへの置換がなされているアミノ酸配列を有するタンパク質

(viiia) 配列番号 2 のアミノ酸配列において、34 位のアラニンからセリンへの置換及び 47 位のアラニンからセリンへの置換がなされているアミノ酸配列を有するタンパク質

(viiia) 配列番号 2 のアミノ酸配列において、10 位のリシンからアルギニンへの置換、34 位のアラニンからセリンへの置換及び 47 位のアラニンからセリンへの置換がなされているアミノ酸配列を有するタンパク質

3. 請求項 1 記載のタンパク質をコードする DNA。

4. 請求項 3 記載の DNA を含有する組換えベクター。

5. 請求項 4 記載の組換えベクターを含む形質転換体。

6. 請求項 3 記載の DNA で形質転換した宿主を培養し、培養物から TRF 2 DNA 結合ドメイン変異体タンパク質を採取することを含む TRF 2 DNA 結合ドメイン変異体タンパク質の製造方法。

7. 請求項 1 記載の TRF 2 DNA 結合ドメイン変異体タンパク質又はその塩に対する抗体。

8. 請求項 1 記載の TRF 2 DNA 結合ドメイン変異体タンパク質を含むタンパク質又はその塩。

9. 請求項 1 又は 8 記載のタンパク質と DNA との複合体。

10. (補正後) 配列番号 1 7 の塩基配列において、3 番目の T から G への置換、7 番目の G から C への置換及び 9 番目の T から G への置換からなる群より選択される少なくとも 1 つの置換がなされている塩基配列を有する、塩基数が

日本国特許庁 13.12.2005

1.3 であるDNA。

11. (補正後) 以下の(i b)～(i i i b)のいずれかのDNAである請求項10記載のDNA。

(i b) 配列番号19の塩基配列を有する、塩基数が13であるDNA

(i i b) 配列番号20の塩基配列を有する、塩基数が13であるDNA

(i i i b) 配列番号21の塩基配列を有する、塩基数が13であるDNA

12. 配列番号2のアミノ酸配列を有するTRF2DNA結合ドメイン又は該ドメインを含むタンパク質が、10位のリシン、34位のアラニン、47位のアラニン及び59位のアルギニンからなる群より選択される少なくとも1つのアミノ酸部位で、被験物質と相互作用するか否かを解析し、相互作用する場合には、被験物質がテロメアDNAとTRF2との結合を制御することができると判定することを含む、テロメアDNAとTRF2との結合を制御することができる物質をスクリーニングする方法。

13. 5'-TTAGGG-3'で表される配列を含む二重らせんDNAの存在下で、配列番号2のアミノ酸配列を有するTRF2DNA結合ドメイン又は該ドメインを含むタンパク質が、10位のリシン、34位のアラニン、47位のアラニン及び59位のアルギニンからなる群より選択される少なくとも1つのアミノ酸部位で、被験物質と相互作用するか否かを解析する請求項12記載の方法。